学校番号	209

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版 新編 数学Ａ （数研出版）						
副教材等	改訂版 教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅰ＋Ａ 改訂版 新課程 練習ドリル数学Ａ 基本から標準編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書、ノート、練習ドリルを授業に持参してください。
・課題提出があります。教科書、練習ドリル、3TRIAL の問題を一度自分で考えて解きましょう。途中式や考え方を必ず書きましょう。
・課題を提出するときは、各自で答えあわせをして提出しましょう。
・確認テストも実施します。復習は定期的に行いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
図形の性質，場合の数と確率について基礎的な計算ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
図形の性質，場合の数と確率について理解し、知識を応用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
事象を数学的に考察し、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する姿勢をとることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	準備　集合	集合	a:集合とその表し方を理解し、表すことができる。 b:図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察できる。 c:集合についての概念や表現方法について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
	第1章　場合の数と確率	第１節　場合の数	a:集合の要素の個数を求めることができる。樹形図や順列、組合せを理解し、場合の数を求めることができる。 b:場合の数を求める方法を考察することができる。 c:場合の数の求め方について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
2学期		第２節　確率	a:確率や期待値について基本性質や公式を理解し、求めることができる。 b:確率について集合や表を用いて考察し、式で表すことができる。 c:様々な確率や期待値の求め方について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
3学期	第2章　図形の性質	第１節　平面図形	a:平面図形の性質について理解し、辺の長さや角の大きさを求めることができる。 b:平面図形の性質や図形の位置関係について論理的に考察することができる。 c:平面図形の性質について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
		第２節　空間図形	a:空間における図形の位置関や多面体の性質について理解する。 b:空間における図形の平行、垂直を考察することができる。正多面体についての考察ができる。 c:空間図形の性質について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度